

木学／XYLOLOGY

主催 木学／XYLOLOGY
日時 展示：平成30年10月27日(土)～11月11日(日) 13時～18時
座談会：10月28日(日) 16時30分～18時
ワークショップ：11月10日(土) ①13時～、②15時30分～
会場 旧平櫛田中邸(上野桜木2-20-3)

この企画は、木彫作家として活動する15名が、大学や画廊の垣根をこえて集まり、木彫文化の継承と更新のため2010年代の木彫の姿を示す展覧会を、近代木彫の祖と称される平櫛田中の旧アトリエ兼邸宅で実施したものです。

「木」という素材を共通項にする表現者たちの活動は、展覧会全体を通して、対内外に木彫文化をアップデートする契機となりました。

●展示「木学／XYLOLOGY」(旧平櫛田中邸)の様子●

近代木彫の祖とも称される平櫛田中の旧アトリエ兼邸宅(上野桜木)で開催しました。

旧平櫛田中邸:左写真奥(→)
右写真玄関

平櫛田中アトリエは、大正8年、横山大観・下村観山・木村武山らの支援により建てられました。本プロジェクトの展示会場として使用しました。



----- ↓ ↓ 展示の様子 ↓ ↓ -----



●座談会の様子●

「木学」というテーマで、ゲスト(トリメガ研究所※)と参加作家による座談会を実施し、本展での試みや木彫をより深く知ってもらう機会となりました。座談会ではゲストが3名の美術館学芸員であることから、展示が難しい木彫において本企画が新たな展示方法を模索する機会とも話されました。

※島根県立石見美術館、青森県立美術館、静岡県立美術館の学芸員3名により、結成された研究チーム。



(↑) 座談会当日の様子(10月28日開催) 定員30名を上回る来場者にお越し頂きました。

●ワークショップ「かわいってなんだろう?」の様子●

木の端材に、目や口など部材を取り付けて「顔」を作るワークショップを開催しました。

ワークショップ「かわいってなんだろう?」当日の様子(11月10日開催)(↓)



木の角材に真剣に顔を描く参加者の皆さん。(↑)



顔を彫る最後の仕上げは、根付等の木彫作品を手掛ける木彫作家の永島さんが行います。(↑)



出来上がった木の顔を手にする女の子。(↑)

「木学／XYLOLOGY」は、会期中累計1700名を超える来場者を迎え、展示・座談会・ワークショップとも、盛況のうちに終了しました。